

のクリスマス交流会に、地域の高齢者の方々と参加をいたしました。ステージで目をかがやかせ、一生懸命に演技する園児を見ておりましたと申しますのも、最近、政治家の発言に気になる内容が、しばしば出てく



初日 竜王山より 撮影:砂田



# 会報 あじの地区 社会福祉協議会

第9号  
平成26年3月発行  
印刷所：三栄印刷株

平成二十五年度役員

# あじの地区社会福祉協議会 会報

が、地域の福祉で特に、高齢者の福祉にテーマをしぼつて、取り組みをいたしております「小地域ケア会議」という組織があります。月一回を原則として、協議実践の場をもつております。今、緊急の問題となつておりますのは、独居高齢者の方、病弱高齢者の方障がいのある方々で、市より避難警報避難指示が発令された時、どんなサポート（支援）が必要か、地域で実情を知つておかなければいけません。

先に市より各家族に配布がありました「津波ハザードマップ」によりますと、避難警報が出ましたら、まず第一避難場所（味野小・味野中）か近くの高台へ避難しなくてはいけません。

◎その場合  
調査結果によつてサポートのあり方（誰が、車いすは、



二十六年度は「こんな  
ことを予定しています

- ◎元気で長生きするために！
    - ・健康講座、歩く会、料理教室、地域の様子を語り合う会などを、年間をとおして計画実施します。
  - ◎支えあう地域をめざして！
    - ・友愛訪問（四月）、子育て支援（アツプルの会との行事参加、幼稚園児との行事参加）、三世代交流行事（グランドゴルフ大会、地区お楽しみ会、もちつき大会）への支援と参加。
    - ◎愛育委員、コミュニティ協議会と協力して、行事に参加！
    - ・第五回マップウォーク in 味野を例年どおり十一月三日に実施します。  
マップウォークは倉敷市の呼びか



けで、各学区の  
愛育委員の作業  
により、「くら  
しき まち歩き  
さと歩きマップ」  
が作成され、各  
家庭に配布され  
ました。これを  
機会にマップウォークを実施。今年  
度五回目となります。



車の利用は：）は？  
強い地震の場合、ケガや火災の発生  
もあるでしょう。  
こう考えていくと、いろいろな問題  
があり、小地域ケア会議の皆さんも考  
えあぐんでいるのが実情です。



